

砂川市少年の主張大会 主張全文紹介③



「スマートフォンとの付き合い方」

砂川学園 9年 年代 絢菜

皆さんはスマートフォンを持っているでしょうか？私は持っています。今では老若男女問わず持ち歩いている人が増え、持っていない人のほうが少ないのではないのかというぐらいにスマートフォンが普及してきています。スマートフォンとは便利なもので、ちょちょいと操作するだけで情報が手に入ったり、友人と連絡が取れたりします。そんな便利なスマートフォンとのつきあい方について一度振り返ってみたくなりました。

はじめにも何度か話した通り、スマートフォンとは本当に便利なもので、昔は新聞や本等にしか載っていなかった情報が、今は検索エンジンに打ち込むだけで、一秒も待たずに何百何千ものデータとなって答えとなるものを我々に教えてくれます。他にも、一つのアプリを使うことで、世界中の人たちと繋がれたり、奇想天外な体験をさせてくれたりします。そんな素敵な体験を味わわせてくれるスマートフォンを手放すことは誰であれ難しいでしょう。かくいう私も手放せなくなってしまっている一人です。ですがやはり物事には裏となるものが必ずついてまわります。長所があれば短所がある、便利であれば不便も生まれるといった風に。便利だから、すぐ終わるから、そういった言葉で誤魔化して本で調べたり、自分自身で体験したり、考えをめぐらせたりするのが億劫になってしまったりしている。そんなことがどんどん増えていってしまっている気がします。ネットだけで簡単に身に着けた知識を武器に戦っていたって、それは自分のものではないから、いずれ使い方がわからなくなってしまい、かえって自分の身を滅ぼしてしまうかもしれません。

もう一つ良くない点があるとするならば、スマートフォンの中に熱中するあまり、現実世界に支障をきたしてしまっている人がいるということです。タスクをどんどん後回しにし、自堕落な生活を送って行ってしまうと、成長していくにつれ集中力が保てなくなり、タスクに手をつけたと思ったら、すぐにやめ、スマホに戻ってしまう。そんなことがあるかもしれません。本来であれば、できることができなくなってしまう、人生において大きな恐怖であるそれは、身近に迫ってきています。それを防ぐには周りの力を借りて「自制」を身に付けていくことが大切だと思いました。

私が今回言いたかった事は、「便利なものにのめり込んでしまったら、自分にとっての不便が生まれてしまう」という事です。中学生という未来への可能性が広がっている今、どんな選択をして、どんな未来になるのか、それは自分自身が決めることです。そんな大切な時期に誤った選択をし、人生を棒に振るようなことは絶対にしたくありません。ですので、スマートフォンという便利な「板」との付き合い方について、もう一度考え直してみる機会を作ることが大切だと思いました。